糸島市立　桜野小学校

令和５年度　全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第６学年児童を対象に４月に実施されたもの）

１　学力調査に関する結果の概要

【国　語】

○　インタビュー活動など，必要な質問をしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができている。

○　説明文を読んで，文章の特徴やそのよさを理解する力が身についている。

●　文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることに課題がある。

●　図や表を関連づけて文章に表したり，自分の考えを表現したりすることに課題がある。

【算　数】

○　百分率で表された割合について理解することができている。

○　計算力や二次元の表から条件に合う数を読み取る力が身についている。

●　正三角形の意味や性質，三角形の底辺と面積の関係について理解できていない子どもが多い。

●　伴って変わる二つの数量をもとに比例かそうではないかを読み取ったり，比例の関係ではないことを表の中の適切な数を使って説明したりすることに課題がある。

２　児童質問紙に関する結果の概要

○　自己肯定感や学校生活への満足度，教師への信頼度が高い。

○　学習の大切さを感じ自分でやると決めたことはやり遂げようとする力や，家で自分なりに計画を立てて勉強する力が身に付いている。

●　自分の考えをまとめることに苦手意識があり，書くことを途中で諦めてしまう子どもがいる。

３　取組についての評価

（1）教科に関する取組

①　効果があった取組

・算数科の重点単元や単元末総復習問題における教師複数指導や少人数指導の実施

・全校での授業改善の推進（書く活動や交流といった言語活動を取り入れた授業）

②　今後の学力向上に向けた取組

・基礎基本の徹底と書く活動や交流活動を位置付けた授業づくりを継続して行う。

・国語の「書く」ことに関する単元を重点単元と位置づけ，全職員で各学年の到達目標を共通理解した上で「書く活動」を実施

・朝タイムを活用して国語・算数での定着が不十分だった内容の重点指導

（2）児童質問紙の内容に関する取組

①　効果があった取組

・ICT 機器を活用したり，学習方法を自己選択させたりすることを通した個別最適な学習の推進

・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む家庭学習チャレンジの実施

②　今後の学力向上に向けた取組

・高学年では，宿題での自主学習において取り組む教科や内容を工夫させていく。